



週間情報



No.2831

発行日 平成28年8月16日

発行所 全国消防長会

一般財団法人全国消防協会

担当 企画部企画課 電話 03(3234)1321

両会の動き

◆ 第1回防災推進国民大会への出展内容等について

全国消防長会

全国消防長会は、平成28年8月27日（土）及び28日（日）、東京大学本郷キャンパス（東京都文京区）で開催される第1回防災推進国民大会において、下記のとおり、東京消防庁と協力し防災展示を行うとともに、ディスカッション等に参加し、国民の防災意識の普及啓発を図ります。

記

1 防災展示

(1) 日時

8月27日（土）10時00分から17時00分まで

28日（日）10時00分から15時00分まで

(2) 場所

山上会館地下1階 会議室002

(3) 内容

- ・ 自走式可搬型地震動シミュレーター『地震ザブトン』を活用した地震体験
- ・ 震災対策の推進に関する展示

2 ディスカッション等

(1) 開会式・メインフォーラム

・ 日時

8月27日（土）10時00分から12時40分まで

・ 場所

安田講堂

(2) ディスカッション

・ 日時

8月27日（土）15時40分から17時00分まで

・ 場所

安田講堂

・ 本会出演者

熊本市消防局長／熊本県消防長会会長 中村 一也 氏

・ テーマ

「熊本地震と東日本大震災に学ぶ地域の防災力」

・ 内容

熊本地震の現地での活躍、支援の経験を踏まえ、東日本大震災前から継続的な防災教育が行われてきた学校の今の取り組みを共有し、地域の防災力の未来に向けたメッセージを発信します。

(3) パネルディスカッション

・ 日時

8月28日（日）13時00分から15時00分まで

・ 場所

理学部1号館中央棟2階 233講義室

- ・ 本会出演者
東京消防庁防災部参事兼防災安全課長 門倉 徹 氏
 - ・ テーマ
「地域防災力の充実強化に向けて～首都直下地震等の大規模災害に備えて～」
 - ・ 内容
常備消防組織、消防団、自主防災組織による取組事例の発表
- 3 大会公式ホームページ
<http://bosai-kokutai.jp>
- 4 大会プログラム

防災推進国民大会プログラム

一部事前申込が必要な場合があります。詳しくは公式ホームページをご覧ください。

安田講堂

8月27日

■開演 10:00 「オープニング・東西 日本学術会議会長による講演等」
10:50 「経済、教育、行政等の各界代表者による災害への備えと連携に関するシンポジウム」
12:50 「防災実務者によるディスカッション（3部構成）」
市民センターの連携/企業との協働と自治体との連携/熊本地震と東日本大震災に学ぶ地域の防災力

8月28日

■開演 10:00 日本学術会議、防災学術連携体
「52学会の結集による防災への挑戦—熊本地震における取組み—」
12:30 日本防災プラットフォーム「世界をリードする日本の防災技術とその国際展開」
14:40 「クロージング」

■4Fロビー（展示ブース）8月27・28日共通
九州大学附属アジア防災研究センター、レジリエンスと地域創生研究会、I・T・O株式会社、
アールシーソリューション株式会社

■3F安田講堂西側（展示ブース）8月27・28日共通
文京区、徳島県、日本地球惑星科学連合、防災安全協会、国立研究開発法人防災科学技術研究所、
内閣府（防災担当）、特定非営利活動法人リアルタイム・地球・防災情報利用協議会、岩手県、
一般社団法人 全国産災協会、日本学術会議、防災学術連携体

山上会館

8月27日

■2F大会会場 10:00 全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOD）
「多岐化する災害の形態に即した支援と連携のあり方について考える」
13:00 日本赤十字社「備えあれば安心—新巻法の基礎知識—」
15:00 日本赤十字社「災害が起こったときに—あなたができること—」

■会議室 10:00 救急庁「子ども向けイベント」
201・202 13:30 一般社団法人 防災ガール
「津波防災に求められる共感を集める「ムーブメント」と「最新テクノロジー」」

■会議室001 10:00 防災ジョアラ推進ネットワーク「みんなで作ろう！脱ボートジョアラワークショップ」
13:30 公益社団法人 全国子ども会連合会「防災・減災意識を高める座談会」

■会議室002 10:00 全国消防協会/東京消防庁「リアルな揺れを体験「地震ザブトン」」

■会議室203 10:00 一般社団法人 日本気象協会「3分間の台風疑似体験日本気象協会「HERASEONJ」」

8月28日

■2F大会会場 10:00 日本火山学会「火山防災シンポジウム 最近の噴火による火山研究と防災」
12:30 日本学術会議、防災学術連携体
ワークショップ①「火山災害にどう備えるか」②「東京圏の大規模にどう備えるか」

■会議室 10:00 国土防災技術（株）「避難行動ゲーム-EVAG-」
201・202 13:00 東京消防庁・徳島消防庁「体験しよう！避難生活と救急要診ガイド」

■会議室001 12:30 一般社団法人 日本損害保険協会「首都直下地震を想定した避難所開設上演」

■会議室002 10:00 全国消防協会/東京消防庁「リアルな揺れを体験「地震ザブトン」」

■会議室203 10:00 一般社団法人 日本気象協会「3分間の台風疑似体験日本気象協会「HERASEONJ」」

■1F・2Fロビー（展示ブース）8月27・28日共通
東京消防庁/徳島消防庁/住宅防火対策推進協議会、
国立研究開発法人 情報通信研究機構 防災ICT研究センター、日本薬理学会、薬毒学
会

■B1F倉庫前（展示ブース）8月27・28日共通
日本労働組合総連合会（産労）、防災ジョアラ推進ネットワーク、熊本県

■1F東館ホール 8月27・28日共通
全労済「Dr.ナグレンジャーの防災科学実験ショー」

小柴ホール

8月27日

■2Fホール 10:00 国立研究開発法人防災科学技術研究所
「「収め」の取組防災—交通と農業への波及—」
13:00 一般社団法人 日本損害保険協会
「20X年首都直下地震、その時、私たちの生活は」

■第4会議室 10:00 日本生活協同組合連合会「親子で楽しむ「オリジナル防災グッズ」工作」

理学部1号館

8月27日

■中突張 233講義室 14:00 スマートシミュレーション/地域革新化研究会
「スマートシミュレーションと地域の革新化—安全な国土の再設計を目指して—」

■西階 336大講義室 10:00 全労済「揺るがる/震子で学べる防災グッズ」

■西階 206講義室 10:00 日本地震学会「都市の地下を知って安全な社会を」
13:00 日本学術会議「災害は負荷を加速する：持続可能な開発に向けた防災・防災の貢献」
16:00 日本ガス協会「都市ガス事業者の地震防災対策の取り組みと平成28年熊本地震への対応」

201a講義室 10:00 災害看護グローバルリーダー養成プログラム
「いのちとくらしを支える災害看護—地域をつなげる防災へのチャレンジ—」
14:30 全日本消防協会「地域から見た防災対策—意識所マニュアル、救急出しネットワーク—」

201b講義室 11:00 連携者「災害時の商業施設について」
14:00 MALCA・相研子（ガラスパワーキャンペーン）
「マンションは在宅避難の時代へ—マンションの防災力強化と安心安全を実現するために—」

8月28日

■中突張 233講義室 11:00 防災安全協会「防災バンク・情報連携推進プロジェクト」
13:00 消防庁/日本消防協会/全国消防協会/日本防火・防災協会

■西階 336大講義室 10:00 全労済「揺るがる/震子で学べる防災グッズ」

■西階 206講義室 10:00 内閣府（防災担当）「地区防災計画フォーラム」
14:00 日本ガス協会「都市ガス事業者の地震防災対策の取り組みと平成28年熊本地震への対応」

201a講義室 10:30 災害看護グローバルリーダー養成プログラム
「いのちとくらしを支える災害看護—地域をつなげる防災へのチャレンジ—」
13:00 日本赤十字社「「忘れぬ」の先へ—若世代「学びたい」ワークショップ—」

201b講義室 NPO法人日本トレイル研究所「災害時のトイレを学ぶワークショップ」

■331講義室（展示ブース）8月27・28日共通
（株）構造計画研究所

理学部4号館

8月27日

■1220講義室 10:00 東京海上日動・東北大学
「東京海上グループ・東北大学 産学連携フォーラム「安心・安全を未来につなぐ—東日本大震災で得られた教訓は活かされているか?—」

14:00 内閣府（科学技術・イノベーション担当）/文部科学省/
科学技術振興機構/防災科学技術研究所
「技術大國日本を生かす—SIP（レジリエントな防災・減災機能の強化）と
熊本地震への取り組み—」

8月28日

■1220講義室 10:00 MS&ADインシュアランス グループ
「「スーパー台風」にどう備えるか「住民連携」で考える防災・減災のまちづくり」
13:00 内閣府（防災担当）/内閣府防災教室—気象予報士と考える災害への備え—」

■1220講義室（展示ブース）8月27・28日共通
MS&ADインシュアランス グループ「MS&ADグループの防災・減災取り組み」

出展内容は予告なく変更になる場合があります。

会場マップ

会場マップ

バス停「東大構内」

理学部4号館

小柴ホール

理学部1号館

理学部1号館

安田講堂

山上会館

バス停「本郷三丁目」

正門 入口

赤門

大江戸橋

バス停「東大正門前」

至丸/内線

「本郷三丁目」→

一 至 南北線

「東大前駅」

第1回 防災推進国民大会

大規模災害への備え～過去に学び未来を拓く～

平成28年
8月27日・**8月28日**

東京大学本郷キャンパス

（安田講堂/山上会館/小柴ホール/理学部棟）

【東京大学本郷キャンパス アクセス】

○地下鉄 本郷三丁目駅（地下鉄丸の内線） 徒歩8分
本郷三丁目駅（地下鉄大江戸線） 徒歩6分
東大前駅（地下鉄南北線） 徒歩6分

○都バス 御茶ノ水駅—東大正門前（茶51）
御徒町駅—本郷三丁目駅（都02）
御茶ノ水駅—東大構内（学07）
上野駅—東大構内（学01）

※経路の詳細は公式ホームページをご覧ください。
※ご来場は、公共交通機関をご利用ください。東大内に駐車場はありません。

詳しくは公式ホームページで <http://bosai-kokutai.jp>

ぼうさいこくたい 検索

2

◆ 法制執務研修会を仙台市において開催

全国消防長会

全国消防長会では、平成28年8月8日（月）、仙台市消防局において、東北支部及び宮城県消防長会の協力のもと、支部内の消防職員100名に対して法制執務研修会を開催しました。

研修会では、本会顧問弁護士 木下健治氏により、「消防関係判例100」及び「消防行政相談事例集」（一般財団法人全国消防協会発行）等を用いて、災害現場活動、予防査察、情報公開、パワーハラスメント等、多岐にわたる判例について講義していただきました。

出席者からは、「実判例を学ぶことで、今後の消防業務に生かせる」との意見があり、有意義な研修会となりました。

次の法制執務研修会は、10月21日（金）出雲市において、中国支部内の消防職員を対象に開催を予定しています。

また、研修会の後には、全国消防保険サービス株から業務時の損害賠償請求に備える保険等の説明も併せて実施しました。



【研修会の様子】

消防本部の動き

行事

◆ マスコットキャラクター『はっぴーカバー君』イベントで大活躍中！

松山市消防局（愛媛）

松山市消防局では、平成28年7月9日（土）から22日（金）までの間、市内4つの幼稚園を対象に「子ども花火教室」を開催しました。

この花火教室は、幼稚園児に花火の正しい知識やルール、マナーを身に付けてもらうことを目的に平成23年度から実施しており、今年で6回目の開催です。本年度は、松山市消防局のマスコットキャラクター『はっぴーカバー君』も参加し、園児たちと一緒に安全に花火を楽しむ方法を学びました。

はっぴーカバー君は消防士と一緒に防火・防災について広報することを任務として、日々様々なイベントで大活躍中です。なお、平成28年11月5日（土）、6日（日）に地元松山市で開催される「ゆるキャラ®グランプリ2016 in 愛顔のえひめ」にエントリーしています。

皆さん、応援よろしくお願ひします！



【子ども花火教室での『はっぴーカバー君』活躍の様子】

◆ 第28回ちびっ子消防広場を開催

東近江行政組合能登川消防署では、平成28年7月16日（土）、ちびっ子消防広場を開催しました。

ちびっ子消防広場は今年で28回目を迎え、東近江防火保安協会能登川支部の協賛の下、地域の子ども達を対象に、幼少期の防火・防災意識の基礎形成を図ることを目的に開催しています。

会場では、ミニ消防車の体験乗車や訓練用消火器での消火体験、煙の怖さや火災時の安全な避難方法を学ぶ煙体験等があり、訪れた大勢の子ども達とふれあいながら消防の仕事に理解を深めてもらう良い機会となりました。

東近江行政組合消防本部（滋賀）



【ちびっ子消防広場の様子】

◆ 消防フェア2016を開催

小樽市消防本部では、平成28年7月24日（日）、DCMホームマック手宮店駐車場の一部を借用し、「消防フェア2016」を開催しました。

「見る、聞く、ふれる消防体験」をキャッチフレーズに、防火・防災意識の高揚と実践的な行動力を楽しみながら養うため、「放水体験」「救急応急手当」「消火器体験」などの体験型ブースを設置し、スタンプラリー形式で体験してもらいました。「はしご自動車搭乗体験」では、長い行列ができるなど、多くの来場者で大盛況となりました。

今後も市民と身近に楽しむ防火・防災体験を通して、安心・安全なまちづくりに向け努力したいと考えています。

小樽市消防本部（北海道）



【消防フェアの様子】

◆ 夏休み一日消防士体験ツアーを開催

北広島市消防本部では、平成28年7月31日（日）、市内の小学生を対象に、夏休みの思い出づくりを目的として「夏休み一日消防士体験ツアー」を実施しました。

放水や救助訓練、はしご車搭乗、心肺蘇生法やAED訓練、通信指令員体験などを行いました。

参加した25名の児童は、訓練を終え笑顔で修了証を受け取っていました。

北広島市消防本部（北海道）



【体験ツアーの様子】

◆ 外国人多数傷病者を想定した合同訓練を実施

札幌市消防局（北海道）

近年、札幌市を訪れる外国人観光客は増加傾向にあり、来年2月に開催される「2017冬季アジア札幌大会」をはじめとする各種大規模イベントの開催により、今後も外国人観光客が増えていくことが予想されます。

このような状況を踏まえ、札幌市消防局では、平成28年7月6日（水）から3日間、大型観光バスを運行するバス会社と連携し、多くの外国人観光客が乗車した大型観光バス同士の交通事故を想定した多数傷病者対応訓練を実施しました。

また、この訓練においては、今年度、当局の救急隊に導入予定である「多言語音声翻訳アプリ」が搭載されたタブレットを活用し、負傷した外国人のトリアージや応急救護所の運営などで有効性を確認しました。



【訓練の様子】

◆ 河川等の水難事故を想定した舟艇訓練を実施

柏市消防局（千葉）

柏市消防局沼南消防署では、平成28年7月14日（木）、手賀沼において河川等での水難事故を想定した舟艇訓練を実施しました。

指揮隊、地上支援隊、救出隊、救急隊及び安全管理隊に分かれ、人命救助を最優先とした迅速、的確な活動を目指し、災害活動時における指揮能力向上及び部隊活動の連携強化を図ることができました。



【訓練の様子】

研 修 等

◆ 火災調査研修会を実施

福岡市消防局（福岡）

福岡市消防局では、平成28年7月27日（水）及び28日（木）、元東京消防庁第四消防方面本部長の北村芳嗣氏を講師に迎え、「裁判から捉えた火災調査」と題して火災調査研修会を実施しました。

火災は、市民の生活に直結した「災害」であり、その被害は生活に大きな影響を与えます。火災調査によって作成された火災調査書類は、裁判において証拠能力がある調書とされており、裁判員裁判制度による刑事訴訟の変化と合わせて、民事関係の照会や開示請求が増加傾向にあるなど、その関心は高まっています。

今回の研修には、当局以外に福岡県内各消防本部も参加し、2日間で200名を超える火災調査員が受講しました。火災調査員にとって今後の火災調査業務に生かすことができる大変有意義な研修会となりました。



【研修会の様子】

そ の 他

◆ 千葉都市モノレールに消防団員募集ラッピング車両が登場

千葉市消防局（千葉）

千葉市消防局では、平成28年7月28日（木）から、千葉都市モノレール株式会社の協力を得て、女性や若者など幅広い層の消防団員加入促進を図ることを目的として、加入促進PRメッセージを掲載したラッピング車両による広報活動を開始しました。

当日は、学生や女性の消防団員が、モノレール千葉みなと駅で乗降客に啓発グッズを配るPR活動を実施しました。

両面にあるラッピングは、片面は消防団員の募集を呼びかけた総務省消防庁がタイアップしているTVアニメ「サンダーバードARE GO」のデザインで、もう一方は『がんばれ！千葉市消防団』のイラストで「消防団応援の店大募集!!」のデザインとなっています。

なお、当ラッピング車両は、来年1月31日まで運行されます。



【「サンダーバードARE GO」デザイン】



【「がんばれ！千葉市消防団」イラスト】

◆ 救命措置に対し消防総監感謝状を贈呈

東京消防庁（東京）

東京消防庁豊島消防署では、平成28年7月26日（火）及び28日（木）、突然卒倒し心肺停止状態に陥った男性（51歳）を救命したとして救命措置を行った6名に対し、消防総監感謝状を贈呈しました。

この事案は、7月10日（日）10時30分頃、西武池袋線車内において発生し、その場に居合わせた埼玉西部消防組合所沢中央消防署勤務の本橋士長が適切な観察を行うとともに、乗り合わせた乗客2名やAEDを持って駆け付けた西武鉄道池袋駅員3名と協力して、胸骨圧迫心マッサージやAEDによる除細動を行ったところ、男性の心拍が再開し、呼吸も回復しました。

乗客の勇気ある行動と駅員の連携により尊い命が救われました。



【贈呈式（7月28日）の様子】

国等の動き

報道発表

◆ 危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）に対する意見公募の結果及び省令の公布（8月8日、消防庁）

消防庁は、危険物の規制に関する政令別表第一及び同令別表第二の総務省令で定める物質及び数量を指定する省令の一部を改正する省令（案）の内容について、平成28年6月18日から同年7月19日までの間、国民の皆様から御意見を公募したところ、1件の御意見をいただきました。意見公募においていただいた御意見の概要及び御意見に対する考え方を取りまとめましたので公表します。また、意見公募の結果も踏まえ、当該省令を本日公布しました。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/08/280808_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

危険物保安室

担当：白石課長補佐、谷口、高野

◆ 平成28年7月の熱中症による救急搬送状況（8月10日、消防庁）

熱中症による救急搬送人員数について、平成28年7月の確定値を取りまとめましたので、その概要を公表します。（以下省略）

○ 全文は、消防庁ホームページ

(http://www.fdma.go.jp/neuter/topics/houdou/h28/08/280810_houdou_1.pdf) に掲載されています。

【問い合わせ先】

救急企画室

担当：森川、勝森、足立

情報提供

◆ 第64回全国消防技術者会議の開催について（ご案内）

消防庁消防研究センター

消防研究センターでは、全国の消防の技術者が消防防災の科学技術に関する調査研究、技術開発等の成果を発表するとともに、聴講者と討論を行う「全国消防技術者会議」を毎年開催しています。64回目となる今年の会議は、下記のとおり開催いたします。皆様のご来聴をお待ちしております。

記

1	開催日	第1日 平成28年11月16日（水） 第2日 平成28年11月17日（木）
2	場 所	ニッショーホール（日本消防会館） 東京都港区虎ノ門2-9-16
3	定 員	両日とも650人（参加費無料）
4	内 容 (予 定)	【11月16日（水）】 ・『特別講演』 奥田和子先生（甲南女子大学名誉教授）に「災害時の非常食」についてご講演いただきます。 ・『第20回消防防災研究講演会』 テーマ「土砂災害・水害における消防活動」 （消防研究センター等の研究成果を発表し、聴講された消防関係者や消防防災分野の技術者との意見交換を行います。） ・「平成28年度消防防災科学技術賞」表彰式・受賞者による展示発表 【11月17日（木）】 ・「平成28年度消防防災科学技術賞」受賞者による口頭発表 ・消防関係者による一般発表（口頭発表・ポスター発表）
5	プログラム	消防研究センターのホームページ（ http://nrifd.fdma.go.jp/ ）をご覧ください（「イベント情報」欄の「【技術】第64回全国消防技術者会議」のリンクをクリック）。逐次詳細なものに更新します。
6	参加申込み方法	消防研究センターのホームページから、申込専用サイトにアクセスし、必要事項を入力してください。 なお、上記の方法が難しい場合は、下記にお問い合わせください。
7	参加申込み期間	8月15日（月）から11月7日（月）まで （但し、各日定員になり次第締め切ります。）
8	問い合わせ先	消防庁 消防研究センター 研究企画室 〒182-8508 東京都調布市深大寺東町4-35-3 TEL:0422-44-8331 FAX:0422-44-8440 E-mail : 64_gijutsusha@fri.go.jp

※ 消防庁各課室の直通電話番号は（<http://www.fdma.go.jp/neuter/about/tel.html>）に掲載されています。

週間情報では、各本部の身近な情報を掲載していますので情報をお寄せ下さい。

週間情報への投稿は企画課へ！

TEL 03-3234-1321 FAX 03-3234-1847 E-mail : weekly@fcaj.gr.jp

【お知らせ】

次回の週間情報は、8月22日（月）の発行となります。